

各学科同窓会の一年

酪農学科「活動報告」

酪農学科同窓会事務局長 野 英二

酪農学科同窓会の2012年度の主な活動は、例年同様同窓会報の発行、卒業生への記念品贈呈と卒業パーティーへの助成および同窓生交流支援を行いました。

卒業生に対しては学位記ホルダー、卒業記念集合写真、樋浦誠先生遺稿集を贈呈しました。卒業パーティーへは、酪農学科が活発に利用している元野幌肉牛牧場で生産した牛肉と酪農アイスクリームを提供しました(食材助成)。

本学特任教授の安宅一夫先生(家畜飼料学研究室元教授)が第45回宇都宮賞(酪農指導の部)を受賞されました。宇都宮賞は「北海道酪農の父」といわれる宇都宮仙太郎翁の業績を顕彰したものであり、酪農業界にとって大変権威ある賞です。今回の受賞は、教育・研究・普及活動の功績が高く評価されたものです。酪農学科同窓会としても大変喜ばしい受賞でした。祝賀会は2013年3月30日に家畜飼料学研究室同窓会とアジア酪農交流会と合同で開催され、それに対し助成をしました。

今後とも同窓会活動にご理解とご協力をお願いいたします。



卒業パーティー実行委員メンバー

農業経済学科「活動報告」

農業経済学科同窓会事務局長 加藤 浩

農業経済学科同窓生の皆さんこんにちは。農業経済学科同窓会の2012年度の活動をご報告いたします。基本的に例年同様の活動を行いました。スポーツ大会への協賛、会報の発行、卒業記念祝賀会の開催、現地研究会の開催などです。現地研究会は昨年に引き続き酪農学園東京オフィスで開催しました。

この現地研究会は昨年度で24回目の開催で農業経済学科と同窓会が協力して行ってきたイベントです。講師の先生や仲間との久しぶりの再会を楽しみに参加してくれる方や最新の情報を聞きに来られる方など、この会はちょっとした学会のようです。今後は学科同窓会から校友会一元化へ体制の変更が予定されていますが、この現地研究会を存続するかどうかは未定です。

また今年はOB独自主催の同窓会が今のところ無いようです。同窓会からは些少ですが会費の補助さらには開催通知のハガキ発送などのお手伝いをさせていただきます。

同窓会の主役は皆さんです。是非同窓会を利用してください。



食品科学科「活動報告」

食品科学科同窓会事務局長 上野 敬司

食品科学科同窓会の2012年度の活動は例年同様、同窓生の住所録管理、卒業生に対して卒業記念パーティー開催への補助ならびに学位記ホルダーの贈呈を行いました。また例年同様の活動に加え、同窓生間の交流促進、学科同窓会からの連絡等を目的として食品科学科同窓会会員用ホームページを制作し、運営しております。このホームページを通して、既卒者向けの求人情報や卒業研究室単位でのお知らせの発信に利用されております。ホームページの案内、同窓生個別のログインID、仮パスワードを皆様にダイレクトメールにてお知らせしておりますが、ご不明な点やダイレクトメールが届いていない等がありましたら食品科学科同窓会事務局宛までご連絡頂きたいと思っております。

また住所変更等などございましたら直接、食品科学科同窓会ホームページの個人情報設定ページにてご変更頂きますようお願いいたします。

今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。



食品流通学科「同窓会活動報告」

食品流通学科同窓会事務局長 西田 智

食品流通学科同窓会の2012年度の活動としましては、2013年3月に卒業生(第16期生)への卒業パーティー支援という形でお手伝いさせていただきました。

2012年度は56名の卒業生が巣立つこととなり、卒業生への記念品としてペーパーウェイトと学位記ホルダーを贈呈し、3月21日に札幌市のセンチュリーロイヤルホテルで行われた卒業パーティーにて、学生の会費補助やビンゴゲームでの景品の補助を行いました。

ちなみに1994年に食品流通学科の第1期生が入学して、卒業した同窓生も1,150名を超すまでになりました。2011年度からの大学組織の変革により、今年度が食品流通学科としては最後の卒業生となりますが、今後とも食品流通学科の同窓会活動にご理解・ご協力頂けますようお願い申し上げます。



■獣医学科 「獣医学科支部同窓会・同期会等開催ラッシュ」

獣医学科同窓会事務局長 菊池 直哉

昨年2月大阪で開催されました日本獣医師会年次大会会場内に、本会専用のブースが初めて設けられました。会期中の3日間、谷山学長、野村同窓会連合会会長、そして北村獣医学科会長が大会に参加した全国の同窓生と交流し、旧交を温めました。今年度の獣医師大会は千葉県で開催されますが、昨年同様設置予定ですので、皆様ぜひともお立ち寄りください。

10月11日に、三愛賞の授賞式が執り行われ、獣医学科創設時から私どもを教育していただいた獣医解剖学教室の阿部光雄本学名誉教授が特別三愛賞を、濱岡隆文氏（11期卒）が動物衛生の試験研究における功績により三愛賞を受賞されました。

獣医学科同窓会では、各支部での同窓会、卒業10周年、20周年などの周年同期会、研究室での同窓会、同窓生による研究会等々が開催され、同窓生間の親睦がはかられております。今年度は例年と比較し、数多くの同窓会が開催され同窓会ラッシュであります。卒業期によっては5年ごとの同期会は序の口で、毎年のように開催しているところもあります。獣医学科同窓会ではそのような会に対して助成金を交付しておりますが、その事務的対応に目を回しております。しかし、それは同窓会が全国で活発に活動している証拠でもあり、事務局としてはうれしい悲鳴です。

今後とも同窓会活動を各支部から盛り上げていただき、ご協力とご理解をお願いいたします。



■生命環境学科「伝えること」

生命環境学科同窓会会長 齊藤真里恵

電気や水道、石油といったエネルギー資源の使い方について実践を進める1年であったと思います。省エネや節電はあたりまえのように定着し、公共施設や家庭、職場などで工夫をしている方も増えたと感じています。震災後見直されてきた取り組みが継続されていきました。行政や経済にも変化が生まれてきたのではないのでしょうか。

「環境のお医者さん」は環境問題の見方や考え方を「伝えて」いかななくてはなりません。そのためには何が問題なのか、どうして問題が起きたのか、これからどうしたらいいのか一緒に考えることが必要だと私は大学で学びました。方法は人それぞれ様々なものがあるはずで、言葉を尽くす、レクリエーションに取り入れる、展示で訴える…伝えること、そして伝える努力をすること、これが今必要とされていることではないでしょうか。

生命環境学科の同窓生は少なくなります。しかし志はきつと受け継がれていくと考えます。今後も生命環境学科同窓会の活動にご理解とご指導をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



■経営環境学科・環境マネジメント学科 「活動報告」

経営環境学科・環境マネジメント学科同窓会事務局長

永田 真弓

環境マネジメント学科同窓会の2012年度の活動は例年同様、卒業生への卒業記念パーティーへの補助、学位記ホルダー、記念写真、卒業記念品の贈呈を行いました。

環境マネジメント学科は大学の組織改編に伴い2013年度でカリキュラムを終了する事となりました。歴史の若い学科で至らぬ点が多々あったとは思いますが、皆様のご支援・ご協力を賜りまして同窓会活動を行う事ができました。改めましてご支援いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、卒業生の皆様の今後ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

経営環境学科・環境マネジメント学科同窓会としての活動は終了しますが、2014年度以降は酪農学園大学同窓会校友会のメンバーとして活動させていただきますので今後とも同窓会活動にご理解・ご協力をお願い申し上げます。



■地域環境学科

「持続可能な発展を目指して？」

—いえ、雑木林のような社会をつくりたい!」

地域環境学科長 遠井 朗子

—昨年はリオ会議から20年、昨年は日本で環境基本法の施行から20年、と環境法政策分野では節目の年が続いています。この間に「持続可能な発展」という用語は広く知られるようになりました。しかし、この思想が私たちの社会に根を下ろしたかというまだまだ道半ばの感があります。

「持続可能な発展」とは何かという点に国際的合意は存在せず、いまだこなれた訳語とは言い難いため、これを新たな社会像と結びつけるためにはもう一工夫が必要です。

そんな折、街角でビッグイシューという雑誌を購入したところ「雑木林のような社会をつくりたい」という記事を見つけました（Vol.224,Oct.1 2013, pp.10-13）。いろいろな人を混ぜること、すべての人に役割と居場所があり「立つ瀬」がある場所をつくるという話です。ここでは「いろんな木が混ざりあい、少しずつ我慢し合って、助け合って成り立っている雑木林」のような社会のあり方が示されています。このような社会は、効率優先ではない、資源を使い過ぎない、お互いぼちぼちやっていける社会という点で「持続可能な発展」という概念にぴったり当てはまるように思います。これからは、「雑木林のような社会」といった方がよいのでは？

このような考え方は、地域環境学科の教育方針とも呼応するように思います。地域環境学科は今年で幕を閉じることとなりますが、地域環境学科という小さな苗床で育った苗木たちが、これから社会のあちこちで豊かな雑木林を形作っていくと考えることは私たちにとっても大きな励みとなります。

昨年の岩井先生のご論考と同様、今年も不思議と「森」の話となってしまいました。野幌森林公園に抱かれるようにして過ごした4年間の大学生活を時折思い出して、機会があれば大学にもお立ち寄り頂ければ嬉しく思います。



2013年度ホームカミングデー報告

9月28日(土)秋晴れの下、全国各地から約200人の卒業生を教職員でお迎えし第22回ホームカミングデーが開催されました。

本年度はホームカミングデー開催前に酪農学園大学短期大学部閉校記念碑の除幕式を多くの短大卒業生と学園関係者により同窓生会館前庭にて行いました。その後、永田享後援会常務の進行により野村武同窓会連合会会長、干場信司学長、宮田勇後援会会長、井上昌保貴農同志会会長に歓迎のあいさつをいただきました。

今年はブルーグラス研究所の学生たちの演奏をBGMに野外バーベキューランチで懐かしい恩師や友人らと交流を楽しんでいただきました。ランチには本学元野幌農場で肥育された日本短角種や健士健民牛乳、酪農大アイス、トンデンファームソーセージ、とうもろこし(野村会長の差し入れ)などたくさんの食材が並び大変好評をいただきました。

午後からは黒澤記念講堂にて学園創立80周年記念事業一環である記念礼拝(永眠者追悼)と作家水樹涼子氏による記念講演「田中正造翁の今日的意味～黒澤西蔵氏との出会いも含めて」が行われ約250名の参加者が耳をかたむけ大変素晴らしい講演となりました。

次回、第23回ホームカミングデーを2014年9月13日(土)に開催予定としております。ぜひ多くの卒業生に出席いただき野外バーベキューランチ、恩師や友人との交流を楽しんでいただきたいと思います。



物故者 2012年4月から2013年3月

ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

- | | |
|---------------|---------------|
| 石橋 光彦(酪農・2期) | 佐藤 清(酪農・3期) |
| 加藤 隆(酪農・4期) | 岩館 静男(酪農・6期) |
| 矢島 良三(酪農・9期) | 南山 仁嗣(農経・13期) |
| 永井 哲(農経・37期) | 加藤 和彦(獣医・3期) |
| 高橋 英世(獣医・3期) | 石塚 巧了(獣医・4期) |
| 平山俊一郎(獣医・14期) | 山田 翔一(生命・2期) |

敬称省略

2013年度酪農学園大学同窓会校友会理事・代議員会報告

5月24日(金)新さっぽろアーキシティホテルにて2013年度同窓会校友会理事・代議員会が開催された。

理事9名、代議員10名が出席した。議長は会則により野村会長が行った。第1号議案：2012年度事業報告並びに収支決算、監査結果について報告され承認された。第2号議案：2013年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について提案され承認された。第3号議案：基本運営・会費等・会則に関する検討委員会より現状報告が行われた。第4号議案：校友会会報・卒業式等小委員会より現状報告された。第5号議案：酪農学園創立80周年事業への支援、短大閉校に伴う支援について提案され承認された。第6号議案：役員改選について提案され承認された。

そのほかホームカミングデー等で使用するテントを購入する事が提示され議論し承認された。その際テントには酪農学園大学同窓会校友会と明記する事とした。

会計報告 2012年度予算、決算および2013年度予算について下記の通り了承された

収入		(単位:円)		
項目	2013年度予算	2012年度決算	2012年度予算	備考
前年度繰越金	7,946,571	8,100,030	8,100,030	
同窓会費	10,815,000	9,927,000	10,080,000	15,000×660名
利息	5,000	1,930	10,000	
助成金	10,000	10,000	50,000	
ホームカミングデー共催金	300,000	210,000	400,000	学園・関係団体より
雑収入	10,000	0	40,000	
合計	19,086,571	18,248,960	18,680,030	
支出				
項目	2013年度予算	2012年度決算	2012年度予算	備考
学科事業費				各学科予算書による
会報費	1,093,750	1,376,053	2,204,000	
会議費	255,000	280,200	360,000	
卒業式記念品費	2,036,070	2,189,511	1,109,933	学位記ホルダー他
卒業パーティー関係費	2,108,090	1,531,334	2,209,000	パーティー会費補助他
活動費	630,000	277,807	610,000	
事務費	240,000	47,790	260,000	切手、ハガキ代他
雑費(慶弔費含)	239,840	101,815	430,500	振込手数料他
支部活動費	1,622,250	544,490	1,512,000	支部への助成
周年事業費	900,000	0	0	学園創立80周年記念事業、短大閉校に伴う支援
校友会運営費				
会議費	200,000	281,008	150,000	理事・代議員会他
連合会負担金	640,200	640,200	640,200	負担金
在学生関係	100,000	100,000	100,000	白樺祭支援
会報関係費	250,000	224,500	250,000	印刷代
ホームカミングデー費	300,000	303,217	500,000	
シリーズ小冊子	200,000	158,890	200,000	印刷、郵送代
コンピューター費	100,000	0	100,000	
人件費	2,000,000	1,172,996	1,200,000	事務局長手当含む
通信費	50,000	47,210	50,000	電話代他
旅費交通費	100,000	119,700	60,000	会計監査、理事・代議員他
慶弔費	30,000	0	50,000	
事務用品費	100,000	121,956	80,000	コピー、トナー代他
消耗品費	30,000	35,931	30,000	マットリース代他
卒業記念品	750,000	702,480	400,000	酪農ジャーナル代
雑費	40,000	45,301	30,000	振込手数料他
小計	14,015,200	10,302,389	12,535,633	
次年度繰越金	5,071,371	7,946,571	6,144,397	
合計	19,086,571	18,248,960	18,680,030	